

決算審査における事業評価の結果の反映状況

1 事業名等

事業番号	18	事業名 (実施計画名)	コミュニティバス運行事業
事務事業名 (業務棚卸評価)	コミュニティバスの運行管理（全般）、コミュニティバス中海岸南湖循環市立病院線の運行管理、コミュニティバス北部循環市立病院線の運行管理、コミュニティバス鶴嶺循環市立病院線の運行管理、コミュニティバス東部循環市立病院線の運行管理		
担当部課	都市部都市政策課		

2 決算審査における事業評価の結果

議会評価	改善・効率化し継続
理由	市民の日常生活の利便性向上のため不可欠な事業であるが、運営方法など改善の余地がある。
附帯意見	将来を見据え、市民の足としてよりよい方向に向けて、採算性の問題はあ るものの、ルート・便数などの改善を図り、拡充していく必要がある。

3 評価結果の反映状況

事業費	23年度予算額（案）	（参考）22年度予算額	（参考）21年度決算額
	114,532 千円	145,079 千円	117,639 千円
議会評価に 対する考え方	コミュニティバス事業は、茅ヶ崎市乗合交通整備計画に位置づけられた ルートを基本としながらも、地域の実情等の変化に対応し、できるだけ使 いやすいものとするためルート、運賃等を柔軟に見直してきました。また 事業を継続していくにあたり、ある程度の公共負担を想定して始めた事業 であり、交通空白不便地区の解消のほか、高齢者等の移動、余暇支援や商 業の活性化等の役割も担っています。超高齢社会を迎えようとしており、 公共交通に対する市民の関心がより一層高まっているなかで、地域の皆様 のご意見を取り入れながら地域に密着したバスとなるよう事業を推進した いと考えています。		
今後の事業展望	今後も引き続き、地域の皆様のご意見をいただくとともに、バス事業者 との連携や研究者の専門的見知からの検証も加え、東部循環市立病院線 の小和田・松浪コースの辻堂駅乗り入れも含めた改善や、北部地域におけ るデマンド型交通システム等新たな交通システムの検証等を行っていきま す。		